北前船こども新聞

北前船こども交流拡大プロジェクト

実施日時：平成30年7月25日10時～15時
会　　場：道の駅石狩あいろーど厚田他
実施主体：一般社団法人北前船交流拡大機構
北前船日本遺産推進協議会
海と日本プロジェクトin北海道実行委員会
（事務局：北海道放送）
石狩市立生振小学校
石狩市企画経済部商工労働観光課
企画指導者：石黒隆一（石狩市郷土研究会、石狩市教委）
対象児童：石狩市立生振小学校5・6年生

Member of UNESCO Associated Schools

ユネスコスクール
いしかり　おやふる
石狩生振小学校

校長：渡會朋広
〒061-3245
北海道石狩市生振375番地1
TEL　0133-64-2018
FAX　0133-64-6427
www.fureai-cloud.jp/oyafuru

小平
留萌
増毛
浜益
厚田
石狩
小樽
岩内
江差
函館
松前

石狩厚田にやって来た 北前船は行きも帰りも宝船

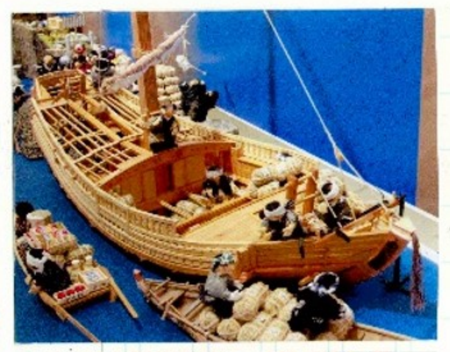
チーム「焼き魚」

北前船ってどんな船

北前船は、江戸から明治にかけて、大阪やえぞ地を往復して、物を買ったり、売ったりしてお金をもらう買い積みをしている船です。

北前船に乗れる人の数は約十五人までです。また北前船はすべての構造が木で造られていて、船底には水に強い、赤松、船首には、強度が強いけやきなどで木が使われました。

厚田では明治から昭和ころまで鰊がたくさんとれました。その鰊は最初に大がまでゆでて、角胴で、水分と油をとり、角胴からはずし、かわかすと鰊粕ができます。その鰊粕は畑の肥料となります。北前船は、鰊粕をたくさん本州へ運んでいたのです。北前船は人々の願いを届けてきたのです。



ニシン粕
方まで運ばれ
北前船に積み込み

木綿、藍、菜種、桑などの商品作物生産に欠かすことのできない肥料。高額で販売された

チーム海産物

人形作りと道具作りで工夫したこと苦労したことは？何で調べたの？

八田美津さんと石黒美香子さんにお聞きしました。

ジオラマを作るにはたくさんの工夫や苦労がありました。まずジオラマの作り方は、ねん土やいぐさでお皿やしし舞いにしんかすのたわら、針金を使って人形にしていきます。苦労していた所は、人形が小さいので、着物を着せるのがむずかしいのと、小物はにしんかすのたわらをたくさん作る所とお〝しゃっ〟ていました。工夫したことは、人形はきるものを織るのと小物は九谷焼のお皿の実物を見ながら、作った所だそうです。

次はなぜつくろうと思ったのか聞きました。その理由は北前船がきた様子をみんなに楽しんでほしいと思ったからだそうです。すばらしい物を楽しく見れた時間でした。

石狩日本遺産の秘密がわかる道の駅北前船ジオラマ

チーム「じゃがバター」

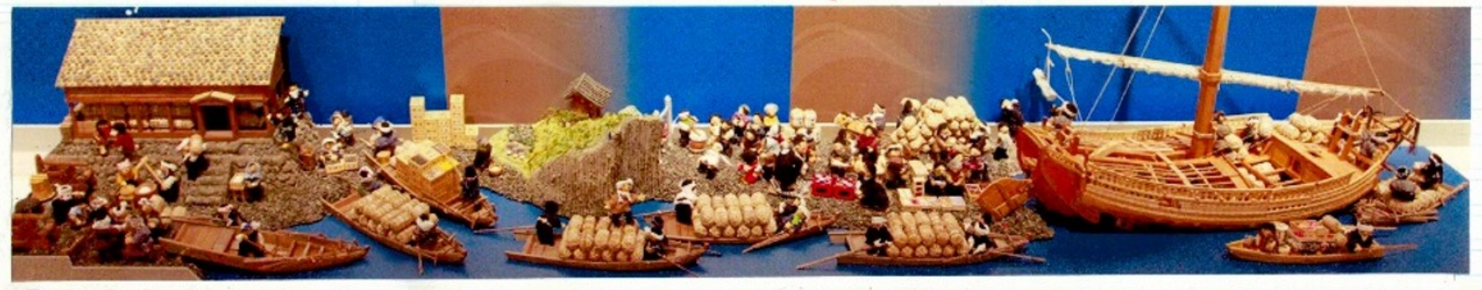
厚田の道の駅には、北前船が来て、にぎわう押琴湾の様子が展示されています。

本州から厚田に　米や正油お酒、お皿などの生活品を運んでいる様子が、いきいきと表現されています。

また、厚田から肥料のニシン粕、数の子身欠ニシン、塩引き鮭などの食料品を本州に送っている様子も表現されています。

今から130年前の厚田の浜の人々の喜ぶ姿を、私たちは石狩の大切な宝だと感じました。

このジオラマは石黒さんご夫婦と八田さんが作りました。



北前船とニシン漁場。厚田の船主佐藤松太郎が長栄丸を迎えている。場所は押琴湾 時代は明治25年。

運んできた宝物 生活に必要な物 食べ物・布・道具

北前船が運んでくる物を厚田の人々は、宝物とよんでいました。なぜ宝物とよばれていたのかというと明治二十五年ごろの北海道では本格的な米作りが行われていなかったのでお米をふくめ生活必需品が宝物とよばれていたのです。

運ばれてきた食べ物のなかでもさとうやみそ、塩などの料理に必要な調味料やもち米などのこくもつ類が多く運ばれていました。

食べ物の他に、しし舞いなどの本州の文化や、お皿やなべ、衣服なども運んできてくれていました。

人々は、北前船が運んでくる宝物があるおかげで生活が豊かになったのです。

お米には越後（新潟）や庄内（山形）と書いてある。

↑九谷焼と輪島塗 輪島は今、[illegible]。

↑長野商店の看板と同じ「千歳」は堺から運ばれた。

↑しし舞いの頭は富山から運ばれた。

↑たくさんの調味料。

↑船の中に積まれた荷物を発見!! 瓦は重たそうだった。

チーム「漁に出よう」

4つの船主集落文化財

旧長野商店…新潟県出身の長野徳太郎さんが作った商店です。この商店では北前船に乗っていた人たちがよくお酒を買いに来たそうです。

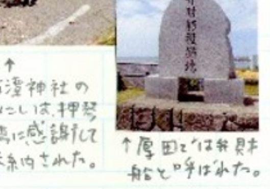
金大亭…新潟の石黒サカさんにより創業された料亭。140年営業し続けている。一番最初に石狩なべを考案した店として知られている。

弁財船投錨地…北前船のことを北海道の人は弁財船と呼んでいました。ここで港があって、荷を下ろしたことがわかります。

厚田神社の船絵馬…厚田神社の本殿にあります。北前船と鰊漁で繁栄した厚田の様子を今日に伝える貴重な資料です。

↑厚田神社では豊漁記念碑と絵馬を見学した。

↑古潭神社のみこしは押琴湾に感謝して奉納された。



↑厚田では弁財船と呼ばれた。

旧長野商店

金大亭

担当チーム「シャケ船」

海と日本 PROJECT

チーム「海産物」
山本 竜馬・新村 冬梧

チーム「漁に出よう」
小玉 竜摩・安部 遼・滝口 開斗

チーム「じゃがバター」
木澤 野乃香・森 太朗・門馬 竜也

チーム「シャケ船」
浅里 寧音・金 ヨハン・因幡 昂晴

チーム「サーモンズ」
小佐野 優香・松尾 悠也・中辻 結季

チーム「焼き魚」
吉村 杏樹・武田 周泰・中村 大地

石狩厚田から買って運んだ宝物

北前船が厚田から買った宝物は、カズノコやニシンかす、みがきニシン、塩引きさけ、こんぶ、魚油などたくさんありました。その中でも、大半を占めていたのがニシンかすでした。

ニシンかすは、ニシン番屋の近くで、まずニシンをゆでてから魚油をしぼりとり残りをくだいてかんそうさせたものです。およそ六十キロのたわらにつめて出荷していきました。

本州の方では、ニシンかすは綿花や桑などの肥料に使われ重宝されていました。そのため、とれたニシンの九割を、ニシンかすとして、その他を食料分カズノコとして北前船に売られていました。

担当チーム「ザーモンズ」

編集後記

ぼくは、北前船のことを学んでみて、海と北海道の歴史がつながっていて、とてもおもしろかったです。石狩市の歴史が知れてよかったです。
開斗

今日、北前船のことについて、よく分かりました。ジオラマも初めて見てこういうことだと分かりました。細かく表現されていてすごいと思いました。
野乃香

今日、北前船について学んでみて、北前船に関係した建物か物がたくさんあることがわかりました。私たちの石狩市の日本遺産についてしることができてよかったです
寧音

石狩市で、北前船寄港船主集落として日本遺産になったのがすごい。石狩市に日本遺産があるなんてすごいと思いました。
大地

今日ぼくは、北前船のプロジェクトで、ジオラマの作り方や工夫苦労や北前船が運んでた物や北前船が買い積みをしたり、宝船とよばれてたことがわかった
冬梧

厚田の人や本州の人、お互いが喜び合える、お互いを待ちわびる、そんな船が北前船であることがわかりました。この北前船こそ、人々の宝船なんだと思いました。
優香

昔のことは興味がなかったけど昔の様子やけいなどを見たり聞いたりすると昔にきょう味をもちました。知らないことが多くて初めて知るのが楽しかったです。
結季

ぼくは今日、北前船について調べていろいろなことも知りました。一番おどろいたのは、船でもても、もうかることです。
悠也

ぼくたちは今日バスに乗って長野商店や金大亭や歴史のある神社などに行っていろんな北前船の事を学びました。今日はとても楽しくいろんな学習をしました。北前船の事をもっと知りたいです。
ヨハン

石狩には、北前船という、百四十年も前に使われていた船です。そのジオラマを見てみると、不し議とずっと見ていたくなりました。
竜也

石狩には古い歴史があるんだなと思いました。また北前船というにしんを運ぶ木でつくられた船があるということを知って、すごく海に興味をもてきました。
杏樹

ぼくは、今日北前船について学んで本州の人たちが運んできた物を厚田の人たちが宝物とよんでいたことがわかりました。すごく楽しかったです。
遼

きょうきたまえぶねにきて、びっくりしたことは、うみにきてびっくりして、どんぶんもかくんだなーと思いました。またいつかきたいです。
竜摩

今日、北前船こども交流拡大プロジェクトに参加して、北前船はすごいんだなと思いました。それとにしんかすの作ったちもすごいと思いました。
竜馬

北前船と石狩、こんなに関係が深いことを知った。ジオラマもテレビで見たらつまらないと思うけど、実際に見たらはくりょくがあってすごくおもしろかった。
太朗

今日は、道の駅に行っていっぱい学びました。北前船が本州の大阪からえぞ地を往復することがわかった。
周泰

ぼくは今日、北前船のことをたくさん知れて楽しかったです。とくに北前船のジオラマが細かく作られてすごかったです。
昂晴